

授 業 概 要

分 野	専門基礎分野	科目名	看護と法	担当講師	西垣悦代 兵庫県看護協会
実施年次	3年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 国民のだれもが普遍的に受けられる現行の社会保障制度によるサービスを安定的に維持するため、とりわけ医療安全や地域連携での看護職の役割は大きく、国民からの期待も高い。本科目では、看護の質を向上させるための保健師助産師看護師法、ならびに看護職者がキャリア形成していく過程で関係する法規を学び、看護が果たす社会的責任を考える。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
6	1. 保健師助産師看護師法について理解する	1) 「看護と法」を学ぶ前提 2) 保助看法の構成と条文 3) 保助看法の実用 4) 看護記録の法的根拠	(1) プロフェッショナルとは何か ① 専門職の定義 ② 法と道徳と倫理 ③ 看護と法 (1) 保助看法の総則（目的と定義）・免許申請と登録・免許の要件・試験・名称独占と業務独占・守秘義務・罰則と再研修・再登録 ー 条文の内容理解 用語、慣用語の理解 (1) 看護職としての成長プロセスと保助看法の適用 ー 基礎教育から国家試験、登録籍の変更と書き換え、欠格事由の発生、免許の取り消し・抹消	講義	
4	2. 医療・看護事故の判例から看護師の法的責任と倫理について理解する	1) 判例に見る「看護とは何か」	(1) 事例「爪のケア」刑事裁判判決から *判例は変更の可能性ある ① 事故か、ケアか ② 倫理とは何か	演習	
4	3. 看護師等の人材確保の促進、労働法等について理解し、看護職が働き続けられる社会基盤整備について理解する	1) 就業に係る法律 2) 看護協会の役割	(1) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (1) 労働基準法と交代制勤務 (2) 出産・育児・介護休業法 (3) 看護職のワークライフバランスとキャリア発達	講義 演習	
1	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(4) 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規				
参考文献	看護者の基本的責務ー基本法と倫理 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院				
評価方法	筆記試験				